

第31期町田市文化財保護審議会第8回会議 会議録

1. 開催日時：2023年5月16日（火） 午前10時00分～10時45分
2. 開催場所：町田市役所本庁舎9階 9-3会議室（リモート会議）
3. 出席者
委員 阿部、内野、大野、小島、鶴巻、浜田、八木橋
事務局 佐藤生涯学習部長、江波戸生涯学習総務課長、貴志担当課長
杉本係長、望月係長、松崎主任、金子主任
4. 報告事項
 - (1) 2023年度当初予算について
 - (2) 「町田市教育プラン2019-2023」重点事業の点検及び評価について
 - (3) 第31期町田市文化財保護審議会のまとめについて
5. 議題
 - (1) 諮問事項「町田市指定旧跡の指定について」
6. その他
 - (1) 第32期第1回会議について（8月上旬開催予定）

会 長 これから第31期町田市文化財保護審議会第8回の会議を開催いたします。

なお、第31期としては今日が最後となりました。前回に引き続きリモート開催ということになりましたが、どうぞよろしくお願ひします。特に今日は旧跡の指定についての審議がございますので、スムーズな進行に御協力をいただければと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

では最初に、事務局から前回の議事録の確定について説明をお願ひいたします。

事務局 事務局からです。事前にお送りしました2月14日の議事録につきまして、御意見がなければ確定とさせていただきますが、皆様いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、確定とさせていただきます。

では、会長、よろしくお願ひいたします。

会 長 では、議事次第に従ひまして進行していきたくと思ひます。

まず1番目、報告事項、今日は3点あります。事務局から一括となるでしょう

か、説明のほうをよろしくお願ひいたします。

事務局 まず報告事項(1)2023年度当初予算についてです。資料の2を御覧ください。

まず初めに、社会教育総務費から今年度予算の概要を説明します。こちらの予算は、町田市固有の文化財の保護や整備、維持管理、公開や活用といった事業に対する予算になります。2023年度の予算額は6452万1000円です。昨年度と比較すると97万円と微増しておりますが、ほぼ昨年度並みの予算額となっております。昨年度、2022年度は、新型コロナウイルス感染症対応の国の助成金を使った自由民権資料館や考古資料室のリニューアル事業で約990万円、中学校給食センターの建設に伴い考古資料や民俗資料の引っ越しなどの事業で約3465万1000円を計上していましたが、今年度、2023年度はこれらの事業はありません。

変わりました、2023年度には大きな事業が2つありますので、この2つについて説明を少しさせていただきます。まず1つ目は、こちらの資料2の中段より少し上あたりに「○2023年度の取り組み」とあります。そちらの①に記載されている取組の中の個人やお寺などが所有者である民有文化財に対する補助事業です。資料の中段、さらにちょっと下あたりの主な事業費①を御覧ください。2023年度は4件の補助を予定しており、補助金予算額は合計で3123万3000円となります。内訳としましては、町田市指定有形文化財妙福寺本堂の銅板屋根の全面ふき替え事業に対する補助金で、全体の事業費5138万1000円のうち補助金額は2000万円を予定しています。

2件目は、相原にあります東京都指定史跡青木家屋敷の茅葺屋根北面のふき替えなどに対する補助金で、全体の事業費4288万9000円のうち町田市の補助金額は1072万3000円を予定しています。

3件目の町田市指定無形民俗文化財保護育成補助金ですが、こちらは例年同様の補助金として、獅子舞やおはやしの保護育成団体5団体に対し、活動費等に対して1団体7万2000円を上限として補助をしているものです。

最後の4件目です。こちらは、昨年度に引き続き、相原の清水寺にあります町田市指定天然記念物アカガシ群落のナラ枯れ被害の対策に対する補助金で、全体の事業費30万円のうち補助金額は15万円を予定しています。

補助事業については以上となります。

次に、今年度の大きな事業2つ目として「○2023年度の取り組み」、②に記載されている高ヶ坂石器時代遺跡の整備事業です。高ヶ坂石器時代遺跡の整備事業は、

2021年度、2022年度と中断しておりましたが、今年度から再開します。今年度は、
牟場遺跡のうち2018年度に取得した用地部分の整備を実施します。2020年度に実施
設計をしておりますので、それに基づき、造成工事、入口広場や園路の整備などを
行ってまいります。こちらの部分の整備は2023年度中に完了して一般の皆様にも公
開する予定です。事業予算額は整備工事費1445万6000円、工事監理委託料72万6000
円です。

1 ページ目の社会教育総務費の予算概要は以上となります。

次に、裏面の自由民権資料館費の概要の説明をお願いします。

事務局 では、自由民権資料館の予算の御紹介をさせていただきます。

事業の内容ですが、今回、資料館では町田市の歴史に関する資料の収集・保管・
展示、三輪の森ビジターセンターでは、町田市の民俗資料に関する展示や体験を実
施するというのが主な内容となります。

23年度の取組、中ほどになりますが、市民が町田市の歴史を知る機会の充実を図
るため、自由民権資料館の展示のほか、三輪の森ビジターセンターと同時開催で行
う「町田のお蚕さん」に関する展示を2つの館で同時開催する予定となっております。
また、自由民権資料館では、町田市の考古・歴史・民俗資料の一体的に活用す
る取組を行います。

下のほう、主な事業費を見てください。主に展示にかかる費用で、①の印刷製本
費が54万8000円、作成委託が25万8000円、それから、①の一番上になりますが、館
の管理委託料が主な予算となりまして、246万4000円の計上となっております。

大まかな説明は以上となります。

事務局 では、続きまして、報告事項2、「町田市教育プラン2019－2023」重点事業の
点検及び評価について報告させていただきます。

こちらは例年、「町田市生涯学習推進計画2019－2023」に基づく前年度の事業実
績について文化財保護審議会で報告、御意見をいただいております。今年度は事
業実績をまとめる時期が少し遅くなりましたので、生涯学習推進計画の事業実績に
ついては、まとまり次第報告をいたします。

ただ、町田市生涯学習推進計画の上位計画に町田市教育プランがございます。町
田市教育プランに載っている事業と町田市生涯学習推進計画に載っている事業は重
要な事業が重複しております。そして、町田市教育プランの事業の点検及び評価は

教育委員会が行うのですが、担当課による2022年度事業実績案はまとまっておりませんので、今回は先にこちらの事業部分について御報告させていただきます。

では、資料の3を御覧ください。生涯学習総務課が担当している事業は4事業あります。1ページ目の歴史・文化資源等を活用した出張事業の推進は、町田市所蔵の考古・歴史・民俗資料を活用した出張展示や市内の小・中学校への出張歴史授業などになります。

2ページ目の町田の歴史情報の提供は、主に町田デジタルミュージアムに関する事業内容になっています。

3ページ目の協働による研究・発表の推進は、自由民権資料館が行っている事業です。

最後の4ページ目の文化財の保存と活用環境の整備は、主に高ヶ坂石器時代遺跡の整備事業となります。

いずれの事業もページ真ん中よりも少し上の部分に活動指標というのを設けさせていただいております、その目標値（2022年度）に対して達成できたかどうかを毎年点検・評価しているのですが、2022年度は4事業とも目標値を達成できた状況となっております。

簡単ですが、資料3の説明は以上になります。

報告事項最後になります。(3)第31期町田市文化財保護審議会のまとめについてです。

資料4を御覧ください。こちらは2021年6月1日から2023年5月31日を任期とし、第31期町田市文化財保護審議会を実施させていただいております。審議会の委員は8名の方をお願いしております、会議回数としては、2021年度から2023年度の5月末までということで8回開催いたしました。

会議成果として、今回答申をいただく予定の町田市指定旧跡「凌霜館跡」の文化財指定1件と、その他として、会議の最初のほうに町田市の歴史資料の収集・保存管理・活用に関する方針（案）の決定をしていただきました。

最後に4として、会議以外の活動として記載させていただいております各種いろいろな相談に乗っていただきました。どうもありがとうございました。

報告事項については以上になります。

会 長 どうもありがとうございました。

ただいま事務局から報告を3件いただきました。もし御質問、御意見のある方がいらっしゃいましたら、ビデオをオンにするか、もしくは挙手マークを押していただけならと思いますが、いかがでしょうか。

委員 最初にいただいた事業の説明のところでございますが、民俗の関連のところを確認をしておきたいと思ひまして手を挙げさせていただきました。

「2023年度の取り組み」というところで先ほど御説明をいただきましたが、①の指定文化財保護育成補助金の中の市の指定の無形民俗文化財の保護育成ということで、例年どおり5団体に対して補助が出ているという状況をお伺いしました。いわゆる対象となる団体の活動の現状確認というか、そういったことは定期的に行われているのかどうか、これを確認させていただきたいというのが1点です。

それとあと、こちらの裏面のところに、今度は事業の内容のほうでございますが、民俗資料に関する展示、体験講座は具体的にどのような予定をお考えになっているのか、もし今の段階で分かるところがあれば教えていただきたいという、この以上2点でございます。

よろしくお願ひいたします。

会長 では、以上の2点、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 まず1点目の無形民俗文化財の補助金の関係での御質問についてお答えさせていただきます。

こちらについて、5団体からは、補助金の実績報告で1年間の活動を報告いただくので、そこで活動内容などを確認しています。コロナが始まって、2020年度、2021年度、2022年度は活動がほぼできていない状況でしたが、2022年度から、例えば夏の神社への例大祭の奉納演舞などが少しずつ復活してきている状況です。

今回、コロナも5類になりましたので、今年度はコロナ前の活動までに戻るよう支援していきたいと思っています。毎年7月、8月、9月あたりで各5団体、神社への奉納演舞などが行われますので、その時期を中心に市のホームページなどでご紹介していきます。

委員 分かりました。今の御説明でもう十分分かりましたが、結構いろんなほかの自治体の例を踏まえますと、コロナで練習がままならないとか、本番ができないとかいろいろあったわけですがけれども、そこで、世代を超えての継承がうまくいなくなっているケースが結構出ておまして、これは無形の民俗ですので保持してい

く、やっぱり人間の力が一番大きい部分ですので、ぜひそのあたりの継承がうまくいくように、また御助成といいますか、御助言もいろいろしていただきながら団体さんを見守っていただければなと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。この点は分かりました、ありがとうございます。

事務局 承知いたしました。

事務局 次に、展示関係の御説明をさせていただきます。

自由民権資料館と、それから三輪の森ビジターセンターで同時開催いたします、町田のお蚕さんの展示について。主に三輪の森ビジターセンターではお蚕さんに絡む民俗資料の展示で、自由民権資料館では、歴史資料的なものを含めた展示をさせていただくという内容になっています。

事務局 付け加えて、民俗関係については、このお蚕さんの展示以外に民俗の体験講座というのも予定しています。これは東京都の登録文化財にもなった「めかい」の技術に関するもので、めかいかごを編む技術の継承を町田の小野路の団体さんもしておりまして、その団体さんと一緒に、11月にめかいのかごの技術を使ってコースターを作ってみようという体験講座を実施する予定です。場所もいろいろな方が来ていただきたい場所ということで、町田の薬師池公園西園の体験工房を使って実施する予定です。

これ以外にも古民家のパネル展示というのも企画しておりまして、こちらも11月の1か月間、薬師池公園の旧荻野家住宅にパネル展示をする予定です。

委員 ありがとうございます。ちなみに、最後の荻野家の展示のパネルはどんな内容のパネルを今御予定しているのでしょうか。

事務局 玉川学園に民俗建築研究家の小林昌人さん、全国の古民家を見て回って資料を集めていた方がいたのですが、その方が亡くなって結構たっているのですが、ご家族が、最近、ぜひ集めた資料を活用していただけないかということでこちらに御連絡がありました。結構面白い資料がございますので、小林昌人さんが集めた全国の古民家の資料と町田市の旧永井家住宅、旧荻野家住宅、あと村野家住宅など、そういった古民家の御紹介を併せてするような企画になっています。

委員 なるほど、またぜひその手のパネル展示が始まったら教えてください。見に伺いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

事務局 ぜひ御案内いたします。

委員 ありがとうございます。

事務局 ちょっと補足させていただきますと、小林昌人先生は、以前町田市の文化財保護審議委員をされておられまして、小島先生は御存じかと思いますが、そういう縁もございます。

委員 いいですね。

会長 ありがとうございます。よろしいでしょうか。

委員 結構でございます。ありがとうございました。

会長 小林先生は玉川学園にお住まいの方ですね。相模原でも私の担当の調査でお願いしたことがあります。

委員 いろいろつながりはありますね。ありがとうございます。

会長 すみません、お待たせしました。

委員 ありがとうございます。主な事業費のところの①です。指定文化財の育成補助金のところで建造物が2点、市の文化財の妙福寺さんと都の指定の青木家住宅ということで、予算も厳しい中でこれだけの予算を取っていただいたということに、まず市の関係の方に感謝したいと思います。大変だったと思いますが、御苦勞さまでした。

それで、妙福寺さんのほうは、銅板の全面ふき替えを考えているということで分かるのですが、青木先生のところ、先ほどお聞きしたら、北側をやって4288万9000円ということだったんですが、背面だけでこの値段ということですか。

事務局 正確に言うと、背面と、あと棟の部分についてもかなり崩落などもあったので、そちらは全体的に直します。金額が高くなった理由としまして、所有者の青木さんから、トラ葺き、つまりカヤの間に杉皮を混ぜてふく形式でやりたいという御要望がありました。青木家についてはもともとトラ葺きをしていたそうですが、ここ数十年、なかなかお金もかかるのでそのふき方ができなかったのですが、ぜひ今回はその手法でやりたいということだったので御要望に応じて、それで少し金額が高くなっております。ここは町田市の補助金額のみの記載ですが、全体の事業費の2分の1は、東京都の指定なので東京都から補助金が出て、所有者の青木さんは、全体の事業費の4分の1を御負担いただくというところですよ。

委員 分かりました。それをまた6月23日でしたかね、現地で確認ということがあるので、詳しいところはその辺でお話しできればと思います。ありがとうございます。

す。

事務局 よろしく申し上げます。

会 長 大野委員には、この2年間大変御活躍いただきましてありがとうございます。

そのほかに何か御質問、御意見はございますか。ないでしょうか。

すみません、私のほうから1点、以前に御説明いただいているかもしれませんが、点検・評価シートですが、これは多分自己点検・評価でABCをつけたと思います。達成率でABCを多分おつけかなと思うんですが、目標をかなり、例えば200%ぐらいいかないとこれはAにならないという評価なのかということと、それからあと、この後何か外部評価的なものがあるかというのを確認のため説明いただけたらと思います。

事務局 お答えさせていただきます。

特にAもしくはBのどこの線引きというのはありませんが、活動指標の中の目標値をクリアしたものは、ちょっとオーバーしたものはB、目標値をかなりオーバーしたものはAというふうに評価をさせていただいております。例えば町田の歴史情報の提供のところでは、目標値が2万4000件だったのが実際には37万件というかなり大きくなったもの、これぐらいのものをA評価というふうにさせていただいております。

会 長 分かりました。例えば最初の出張事業も37件の予定が51件なので、これぐらいだったらAなのかなと思ったらBだったので、その辺の基準がどうかというので伺いました。

あと、この後の外部評価のようなものはあるのでしょうか。

事務局 この後に外部評価がございます。そこで、今の御指摘のように、例えば37件が51件、これが件数として非常にいい評価をしていただければ、例えばA評価になるという可能性もございます。

会 長 分かりました。ありがとうございます。

そのほかに、(1)から(3)までありますが、御意見、御質問がある委員の方はいらっしゃいますか。よろしいでしょうか。

では、報告事項につきましては以上にしておきたいと思います。

次に、議題の2のほうに移らせていただきますが、よろしいでしょうか。

まず事務局から、本日の諮問事項について説明をお願いいたします。

事務局 説明させていただきます。

資料5を見ていただければと思います。1ページ、2ページが答申案になります。3ページがその指定調書ということになります。

こちらから諮問させていただいた資料と比較しまして大幅に変えさせていただいたのが指定理由のところになります。これは前回の鶴巻委員に御指摘いただいたものを参考にしながら書き改めさせていただきました。

大幅に変わっているところをどのように変えたかということをお説明させていただければと思います。3ページの真ん中より下ぐらいの指定理由のところでは、1段落部分に大体の理由が書かれています。まず1つ目は、他の文武館に比較して凌霜館が時期的に見ても先駆的であるということ、その活動内容が、若者たちが時事の談論、文武の研さん、精神と身体を鍛えたというような内容が資料上確認できるということ、あとは、明治30年代に組織されたと思われる凌霜会という青年会の活動の場としてその後も使われているという、明治末まで地域活動の場であったということ、この3つから評価をさせていただくという形に変更いたしました。

あとは、上のほうの沿革のところを諮問の文書よりも少し詳細に書かせていただいたということが大きな変更点になるかと思います。

御審議のほどよろしく申し上げます。

会 長 説明をありがとうございました。

前回の会議のときに鶴巻委員からもいろいろ御意見をいただきまして、事務局と鶴巻委員との間で調整が図られたというふうに聞いておりますが、ただいまの諮問案につきまして御意見等がございましたら、挙手またはビデオオンでお願いしたいと思います。いかがでしょうか。鶴巻委員から何かございますか。

委 員 特にありません。異論はありませんし、よくできたのではないかというふうに思います。

会 長 ありがとうございます。

その他の委員の皆さんから、何か御意見とかあるいは質問があればと思いますが、いかがでしょうか。特にないでしょうか。

大変よくまとまったという鶴巻委員からの御意見もございましたが、もし異論がないようであればこの形で答申をしたいと思います。皆さん、よろしいでしょうか。

委員 結構です。

会長 ありがとうございます。

では、特に御異論がないようですので、この形で答申をさせていただきたいというふうに思います。

では、本日の諮問事項の議事については以上でよろしいでしょうか。

では、事務局、お願いいたします。

事務局 先生方、どうもありがとうございます。

この後の流れを説明させていただきます。こちらの答申案が今回の会議で確定ということになりましたので、こちらの答申を教育委員会に報告させていただきまして、それに基づき教育委員会に旧跡の指定について、凌霄館跡の指定を議案としてかけさせていただきます。6月の教育委員会に議案として提出できればと考えております。教育委員会で承認いただいて、指定という形の流れになります。

会長 御説明ありがとうございました。

では続きまして、3番目の事項でその他という部分に移りたいと思いますが、まず事務局からございましたらよろしくお願いいたします。

事務局 まず、次第の項目にはありませんが、第31期の文化財保護審議会が今回で終了となります。皆様本当にありがとうございました。そして、今期で退任される委員の方々、阿部委員、小島委員です。

阿部委員には、これまで考古学に関して多くの御助言をいただいてまいりました。特に史跡の整備や指定においては熱く御指導いただき誠にありがとうございました。

また、小島委員には本当に17期、34年という長きにわたって委員をお務めいただきました。特に郷土史に関して多くの御助言をいただいて誠にありがとうございました。

この後、阿部委員、小島委員は、文化財保護審議会は委員のほうは御退任されますが、引き続き、高ヶ坂石器時代遺跡整備検討委員会の委員はお引き受けいただいております。今後も市の文化財について御助言を賜りますようお願い申し上げます。本当にこれまでありがとうございました。

そして、次期第32期の文化財保護審議会については、先日、5月12日に行われました定例教育委員会で7名の委員の方に委嘱することが承認されました。お1人、

新任で須田英一先生が考古学の専門委員としてお入りになります。そして、再任となります先生方には引き続きよろしく願いいたします。

では、会長、お願いいたします。

会 長 ありがとうございます。

今期をもって2名の委員が御退任というふうに伺いました。今日は最後の会議ということになりますので、ぜひ一言御挨拶をいただきたいと思います。まず、阿部委員から一言お願いできますでしょうか。よろしく願いいたします。

委 員 阿部です。なかなか十分な貢献ができたかどうかちょっと分からないところがありますけれども、ただ、横穴の保存については何とか持ち込めたというのはよかったかなと思っております。そろそろもう辞退しようかなと考えておりましたが、高ヶ坂につきましては、まだ途中で、コロナその他がありましてなかなか進みませんが、これは最後、私の責任もありますので、微力ではありますがありますが、本年度で終了ということで、それにつきましては最後まで検討していきたいなと思っております。長い間どうもありがとうございました。

委 員 ありがとうございます。

事務局 ありがとうございます。

会 長 どうもありがとうございました。

では、続きまして、小島委員から御挨拶をお願いできるでしょうか。

委 員 長い間お世話になりましてありがとうございました。憲政資料というのは町田にたくさん残ってしまっていて、やはり相続とかでそういうものが散逸するおそれがあります。私の後任を誰か決めていただいて、また憲政資料なども保存されるようにぜひ頑張ってくださいと思います。どうもありがとうございました。

委 員 ありがとうございます。

事務局 ありがとうございます。

会 長 ありがとうございます。小島委員には大変長い間お世話になりましてありがとうございます。これからもいろいろと相談をさせていただく機会があると思いますので、引き続きよろしく願いしたいと思います。

委 員 よろしく願いします。

会 長 以上で本日の一通りの議事は終了ということになりますが、最後に委員の皆様から、今の御退任のお2人に対してでも結構ですが、何かございますか。特にござ

いませんでしょうか。

そうしましたら、事務局のほうで最後にもしその他あればお願いしたいと思いません。

事務局 今回で御退任される阿部先生、小島先生、本当にありがとうございました。引き続き32期に再任していただく先生方、これからもよろしくお願ひいたします。

次回の会議の御案内をさせていただきます。第31期はこちらの会議で会議自体は終了となります。第32期についてですが、委嘱期間は6月1日からとなっておりますが、最初の会議については、すみません、次第では7月上旬と記載いたしましたが、少し遅らせて8月上旬を予定しております。また、こちらについては別途日程調整をさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

また、今回は第1回目ということもありますし、また、コロナも5類になり落ち着いているということで、対面での会議を予定しております。こちらの市役所まで御足労をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

事務局からは以上になります。

会 長 どうもありがとうございました。

では、今回は8月ということですので、調整のほうをよろしくお願ひしたいと思います。

以上で本日の議事は全て終了ということになりますが、最後に各委員から何かございますか。特にございませんでしょうか。

そうしましたら、これをもって第31期の文化財保護審議会の会議を終了したいと思います。どうぞ皆さんありがとうございました。

《配付資料》

- 1 報告事項
- 2 2022年度予算概要
- 3 「町田市教育プラン2019-2023」点検・評価シート案（2022年度分）
- 4 第31期町田市文化財保護審議会のまとめ
- 5 答申書（案）

○東京の文化財第133号

○とうきょうの地域教育NO. 148号